
恋ですか

梓

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

恋ですか

【Zマーク】

Z5071B

【作者名】

梓

【あらすじ】

彼女の心。好きで、たまんない心。でも、これが恋つて分かんない。そんな本音を語った詩のような小説。

(前書き)

詩のよくなりになってしまった。周りにいる友達を見て作りました。
私の気持ちも入っているかも。どうぞ、ぜひ読んでください。

溢れる」の想いは、恋ですか。

出合には、何も感じなかつたのに、今更、このよつた気持ちになつてゐる。

ああ、こんなに切ない気持ちになつてゐる。

涙が、出やうなくらい「キミ」が好きなのに、ただ、それだけなのに… なんで

「好き」

と言えないの？

そばに「キミ」がいるだけで、心臓が飛び出そつたのに、これは何？好きと言えるの？

このセヤセヤした複雑な想いを恋と言ふのですか？ さては、この事を恋と言つのですか？

限りない質問を、誰かに答えてほしよ視線の先には、キミがいるの。

なんて、ボーッとしていたら。

「みつちやん。」

あ。Jの声。私の大好きな声。キミの声。

「ん? 何?」

返事したら

「どうしたの? なんか、ボーッとしてちゃうて?」

そう言つて、キミは笑う。やつぱり、ズルい。その笑顔。一力つつて、笑う。可愛い笑顔。

「別に、何でもない。」

あ。冷たい態度かな。ちょっと、失敗。

「ふーん。あ、田直だよ。黒板。」

まだ笑顔のキミが言つ。黒板を指差して。

「あ、ありがと。」

なんだ、そんなことで呼んだのかあ。

ちょっとガッカリしながらも、すっかり忘れていた田直の仕事に気づかせてくれたことに感謝した。

ああ、Jの気持ちが恋なのか。恋なんでしょう。きっと、こうこう」となんだ。

自分で納得しても、ダメか。

恋ですか。恋なんですか。

私は、自分の心に何度も問い合わせる。

きっと、明日も明後日も問い合わせる。

自問自答しながら、毎日を過いでしていく。

そうやって、私は恋をする。

(後書き)

どうでじょつか? アドバイスがあつたら、お願ひします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5071b/>

恋ですか

2010年12月5日11時51分発行